

PR TIMES

2017年度通期決算 説明資料

2018年4月13日

The background of the slide features soft, out-of-focus pink cherry blossom branches with small flowers and buds, set against a light, airy background. The blossoms are scattered across the top and bottom edges, framing the central text.

01

2017年度 通期決算

02

2017年度第4四半期 四半期決算

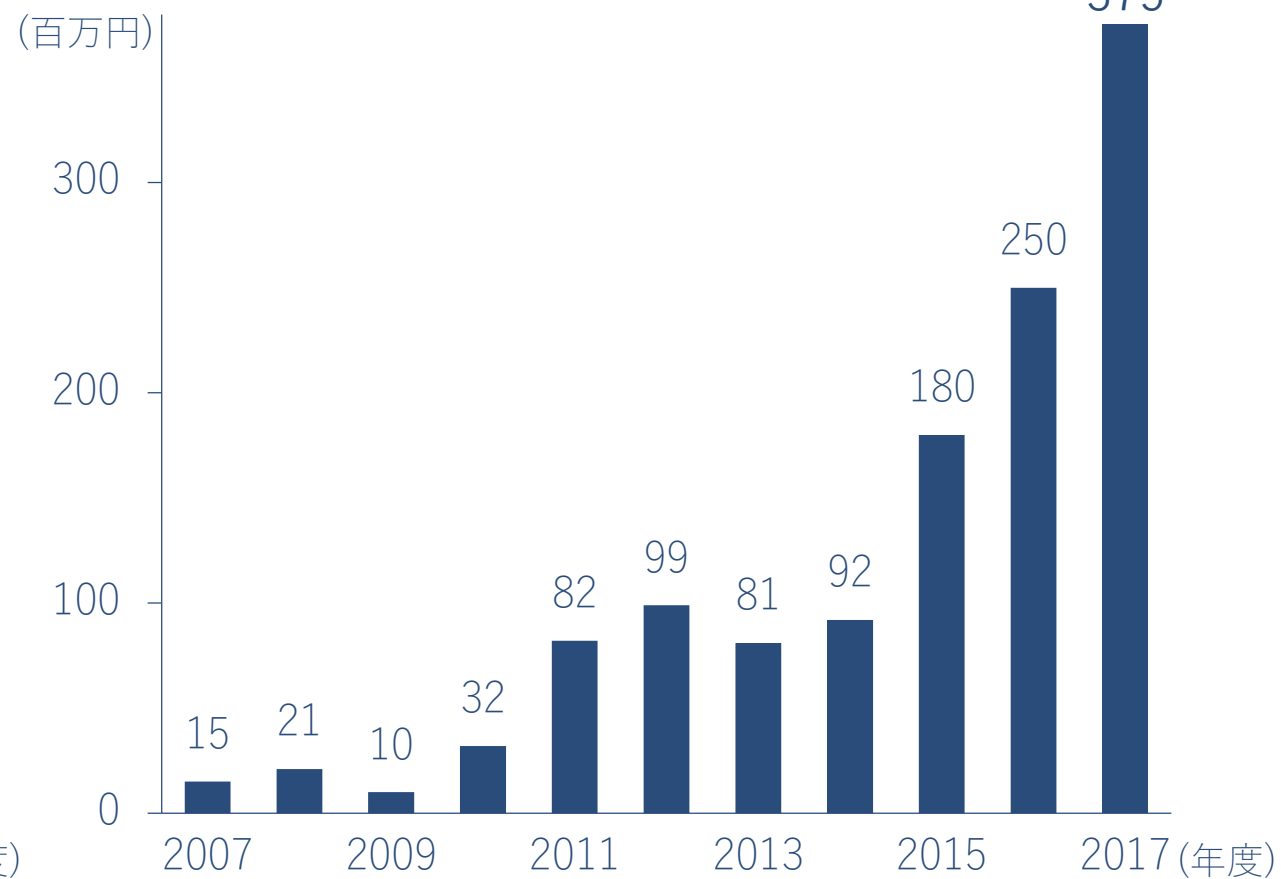
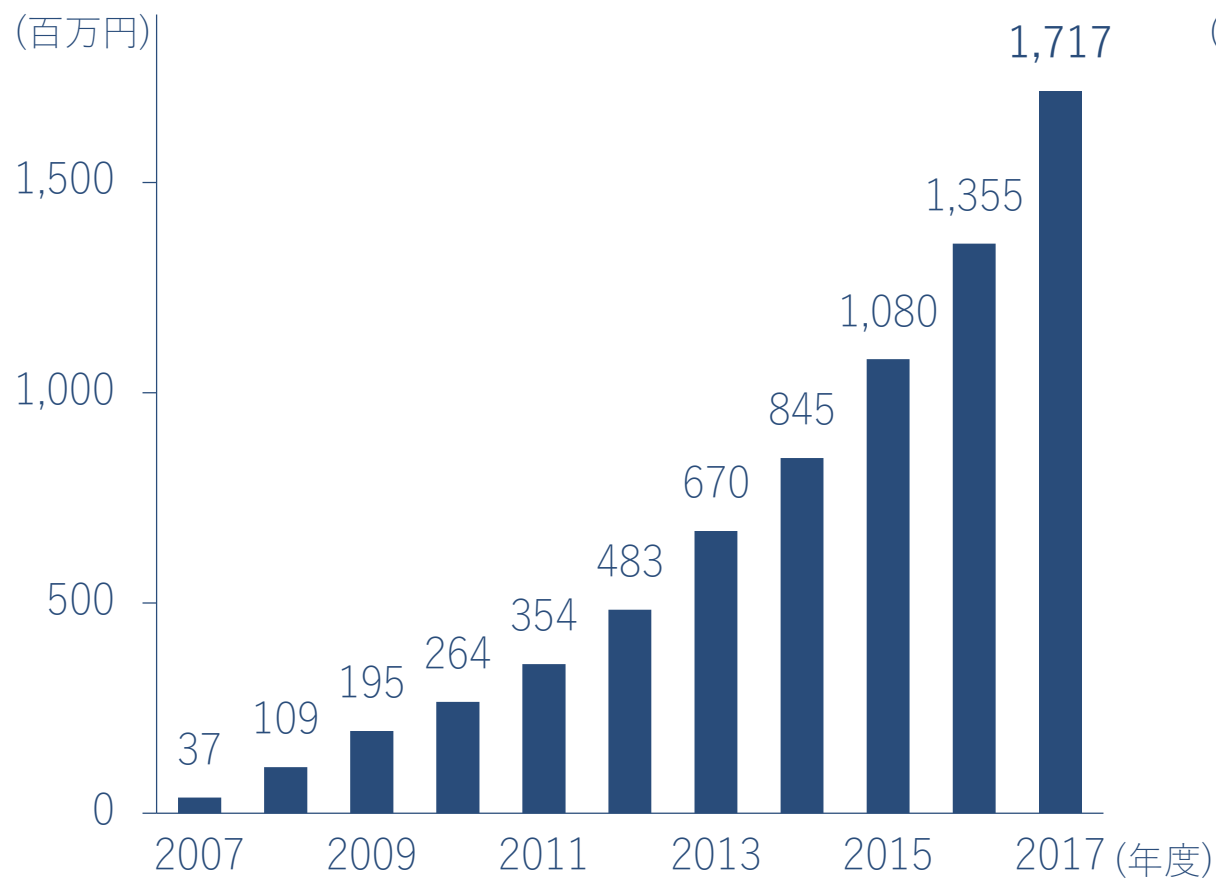
03

2018年度 業績予想

PR TIMES

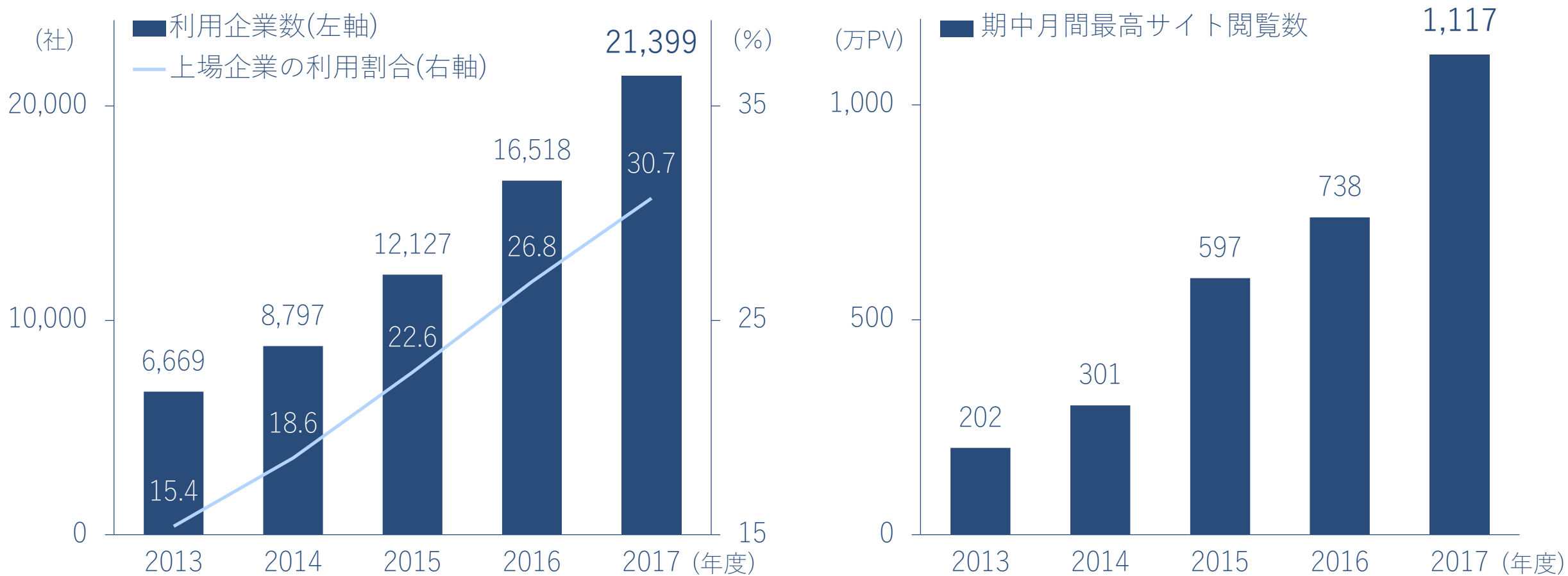
(単位：百万円)	2016年度 通期実績	2017年度 通期実績	前年同期比 (YonY)	2017年度 通期予想	対通期予想 進捗率
売上高	1,355	1,717	126.7%	1,690	101.6%
売上総利益	1,042	1,342	128.8%	—	—
(粗利率)	(76.9%)	(78.2%)	—	—	—
販売管理費	791	966	122.1%	—	—
営業利益	250	375	149.7%	350	107.3%
経常利益	237	370	156.0%	347	106.9%
当期純利益	154	241	156.5%	239	101.0%

創業来11期連続で売上高25%超成長と営業黒字を達成、営業利益は3期連続で過去最高を大幅に更新

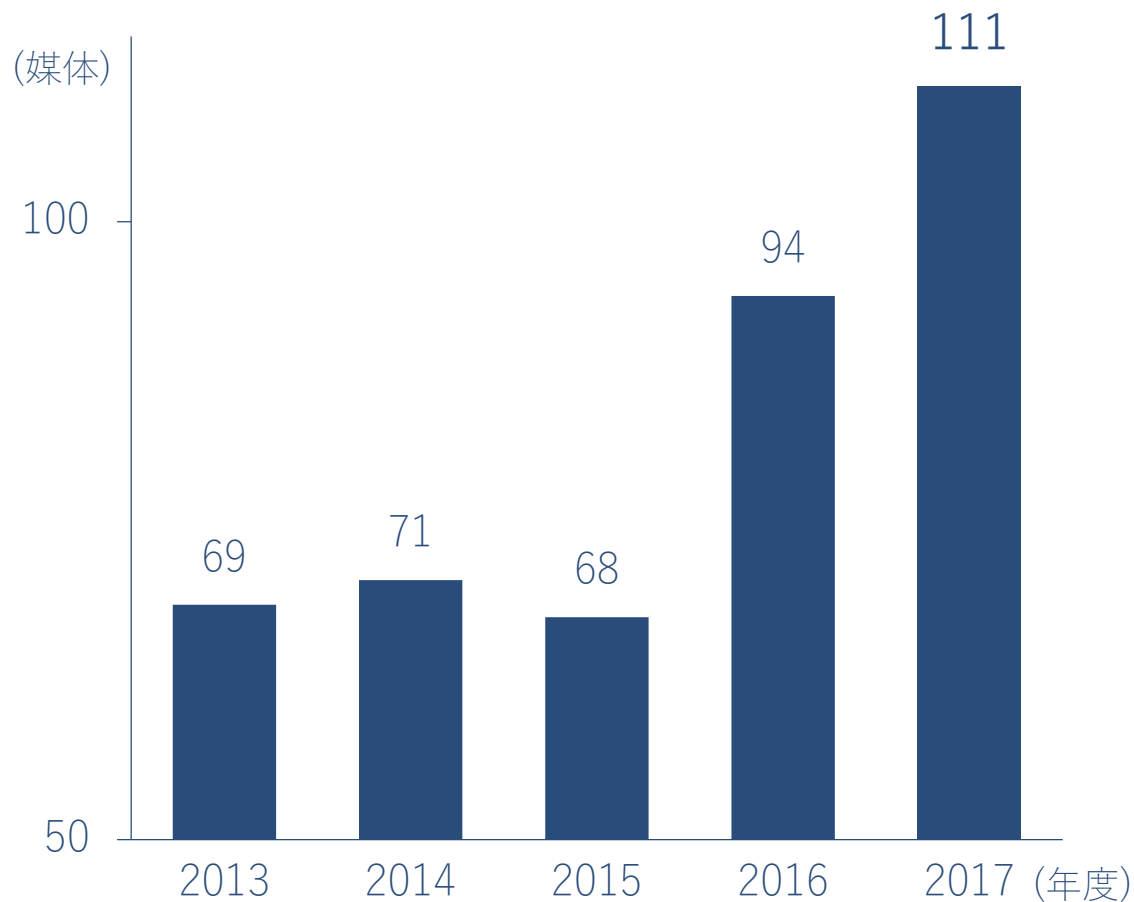


PR TIMES：利用企業数とページビュー数の推移

利用企業数が2万1千社（前期比4,881社増）、ページビューは月1,100万PVを突破

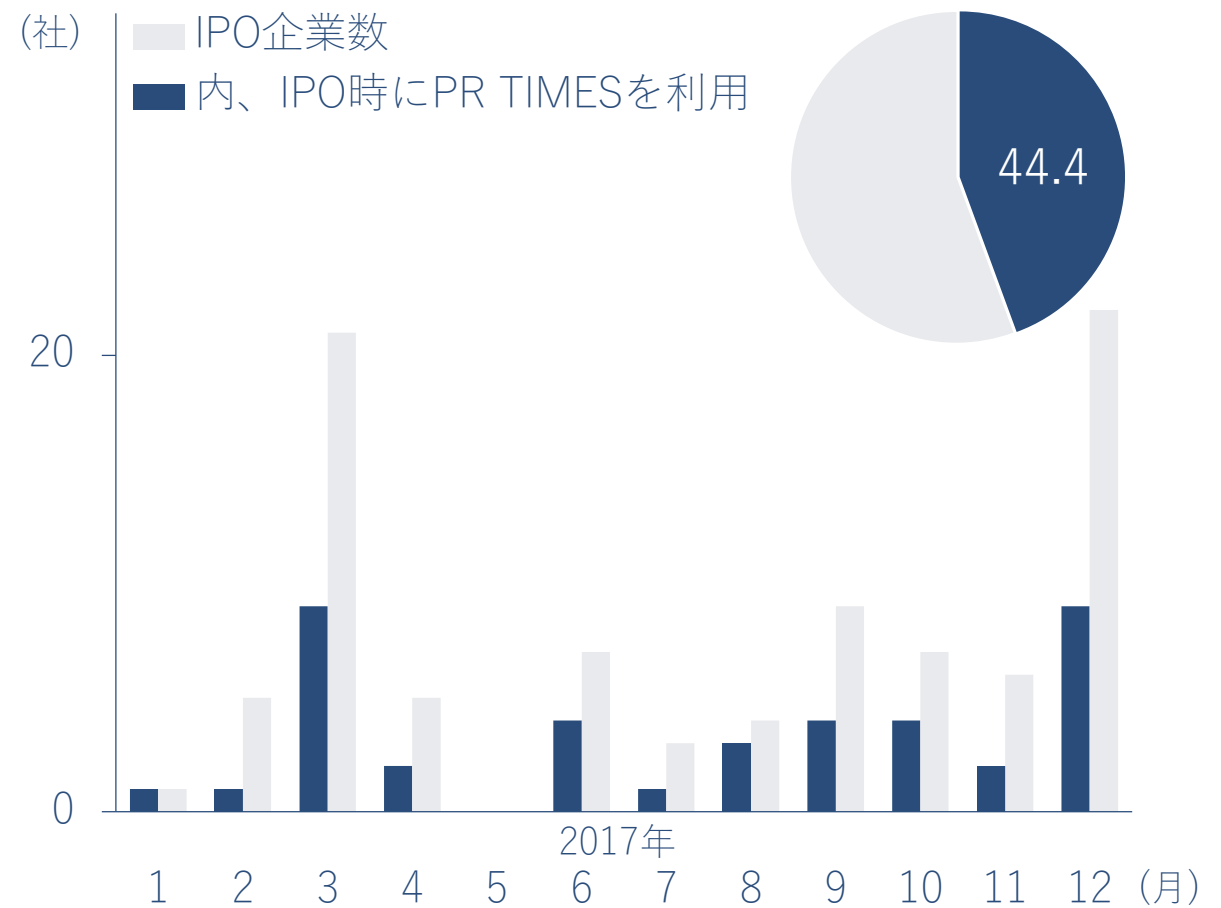
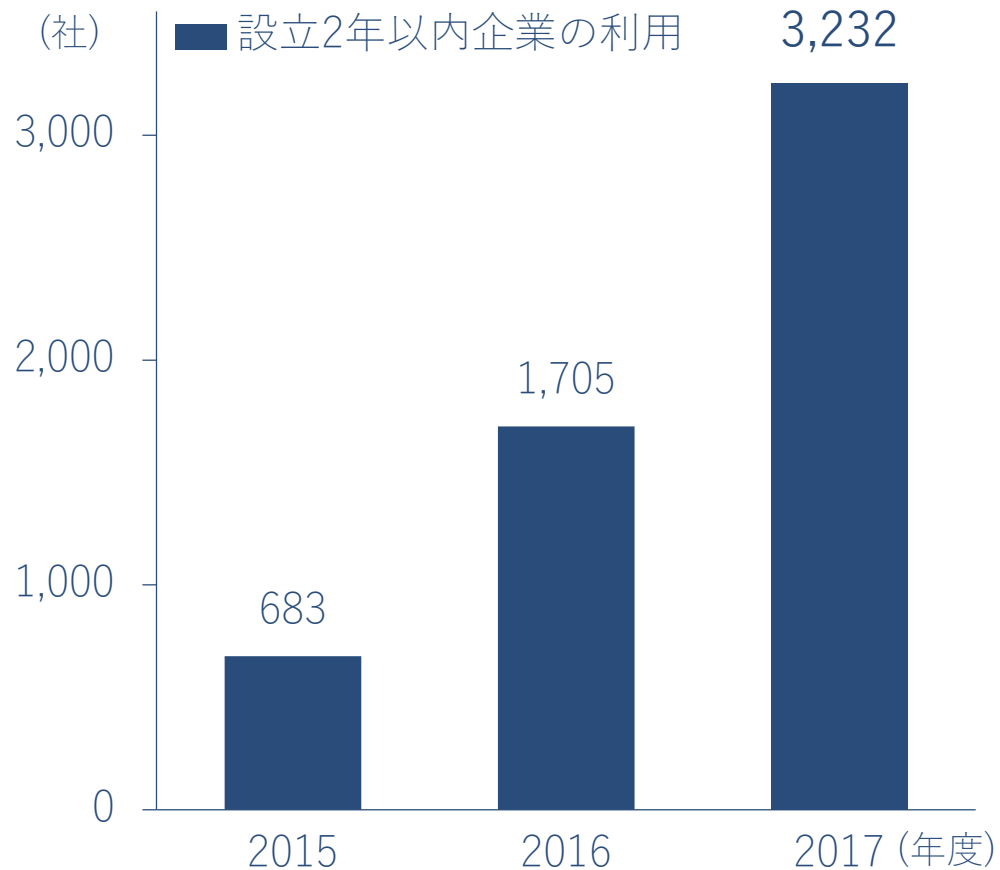


月間1億PV超12媒体、1千万PV超27媒体含む111媒体にプレスリリースを転載



PR TIMES：クライアントサクセス実績

スタートアップ支援プログラムで設立2年以内の企業の利用が拡大
2017年日本国内に上場した企業の内、44.4%がPR TIMESを利用



利用企業の担当者向けに‘無料’で学び合える場を創出、「PR TIMESカレッジ」の定期開催を決定



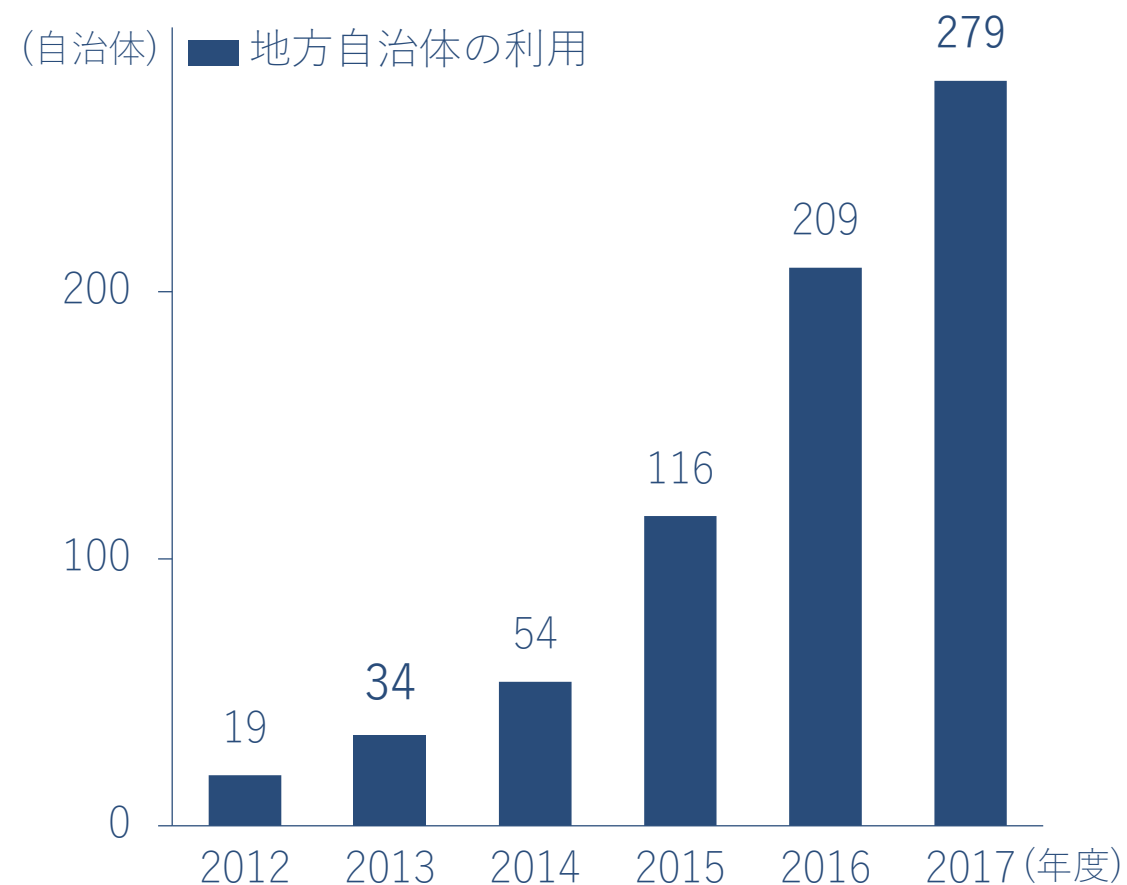
“ゆうこす”こと菅本裕子氏、カルビー広報 野原和歌氏、BuzzFeed Japan創刊編集長 古田大輔氏を迎えて開講

国際PR協会とThe Holmes Report主催のアワードでそれぞれ部門最優秀賞を獲得



防災ガールと日本財団が共催した津波防災プロジェクト「#beORANGE」で当社がPRを担当

地方金融機関3行・1信金、地方メディア1媒体、地方自治体1市と業務提携
地方自治体の利用が順調に増加、地方自治体に域外広報に取り組む意義を啓蒙



新サービスライン：動画PRサービス「PR TIMES LIVE/TV」

PR TIMES LIVE：企業や自治体のプレスイベントや記者発表会の模様をLIVE配信（生中継）

PR TIMES TV：PR TIMES LIVEを事後ダイジェスト配信や、プレスリリースから制作した動画を配信

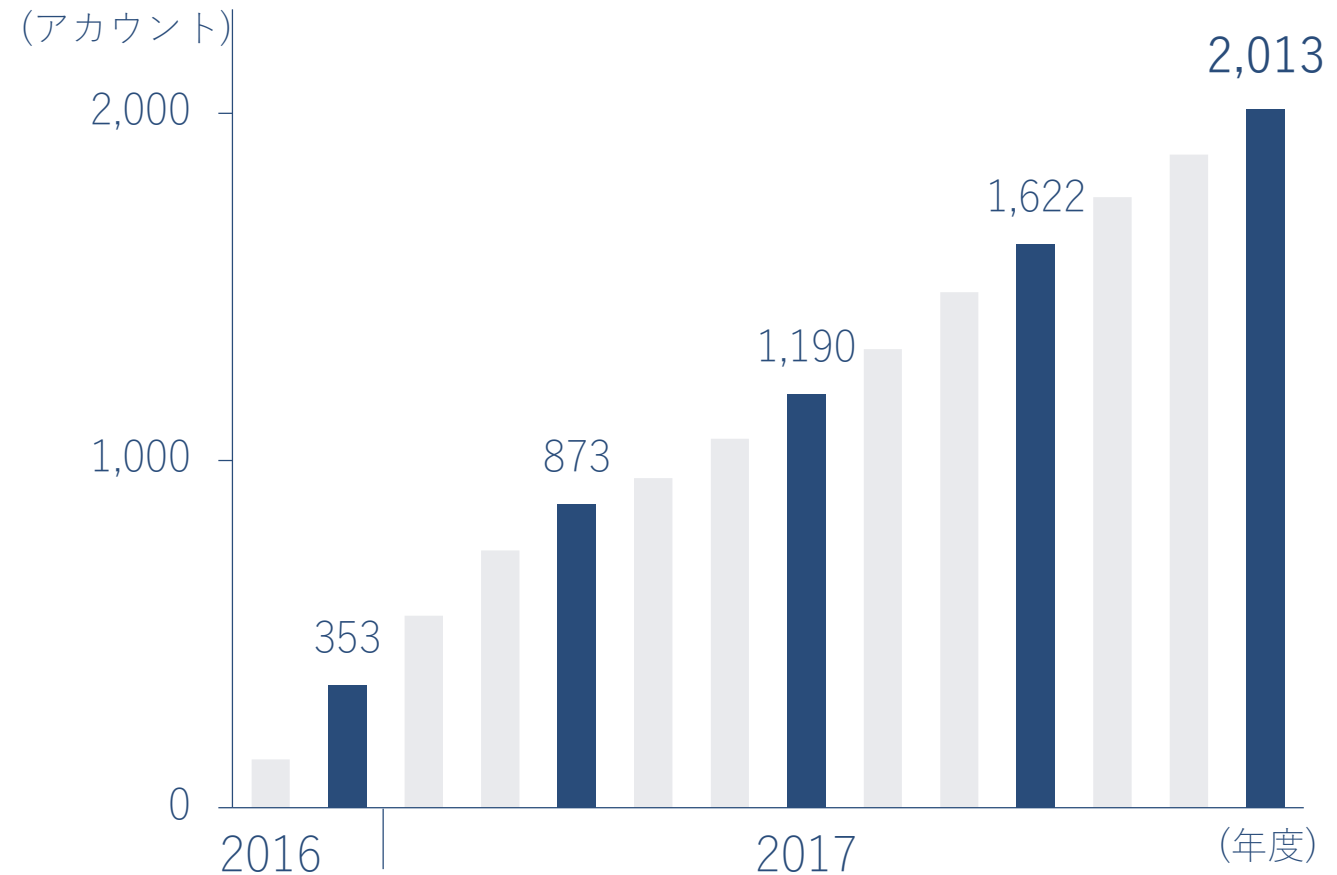
クライアント一部実績



2017年11月にローンチ以降、すでに50件以上の実績



2017年1月のローンチ以降も機能拡充とUI改善を繰り返して着実にユーザーを増やす、前期末時点で2,013名



継続的な機能拡充

- ① 速報に加えて、過去のニュース記事を検索
- ② ニュース記事のFacebookとTwitterの反響数計測
- ③ 通知機能を拡張、リアルタイムで記事掲載を通知

UIリニューアル効果でユーザー数は11,225名（前期比223.4%）に増加、有料プランの機能拡充で収益化期待



(アカウント)

10,000

11,225

5,024

1,311

0

2015

2016

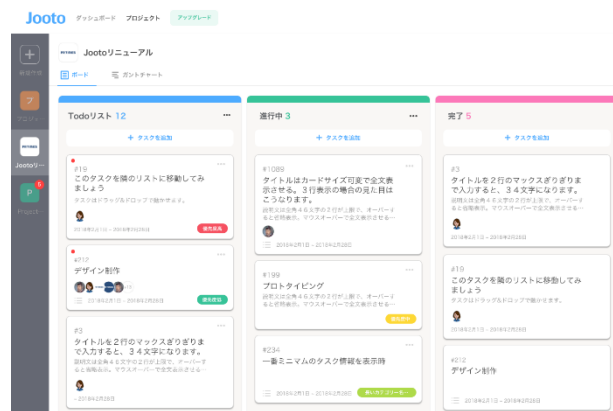
2017

(年度)

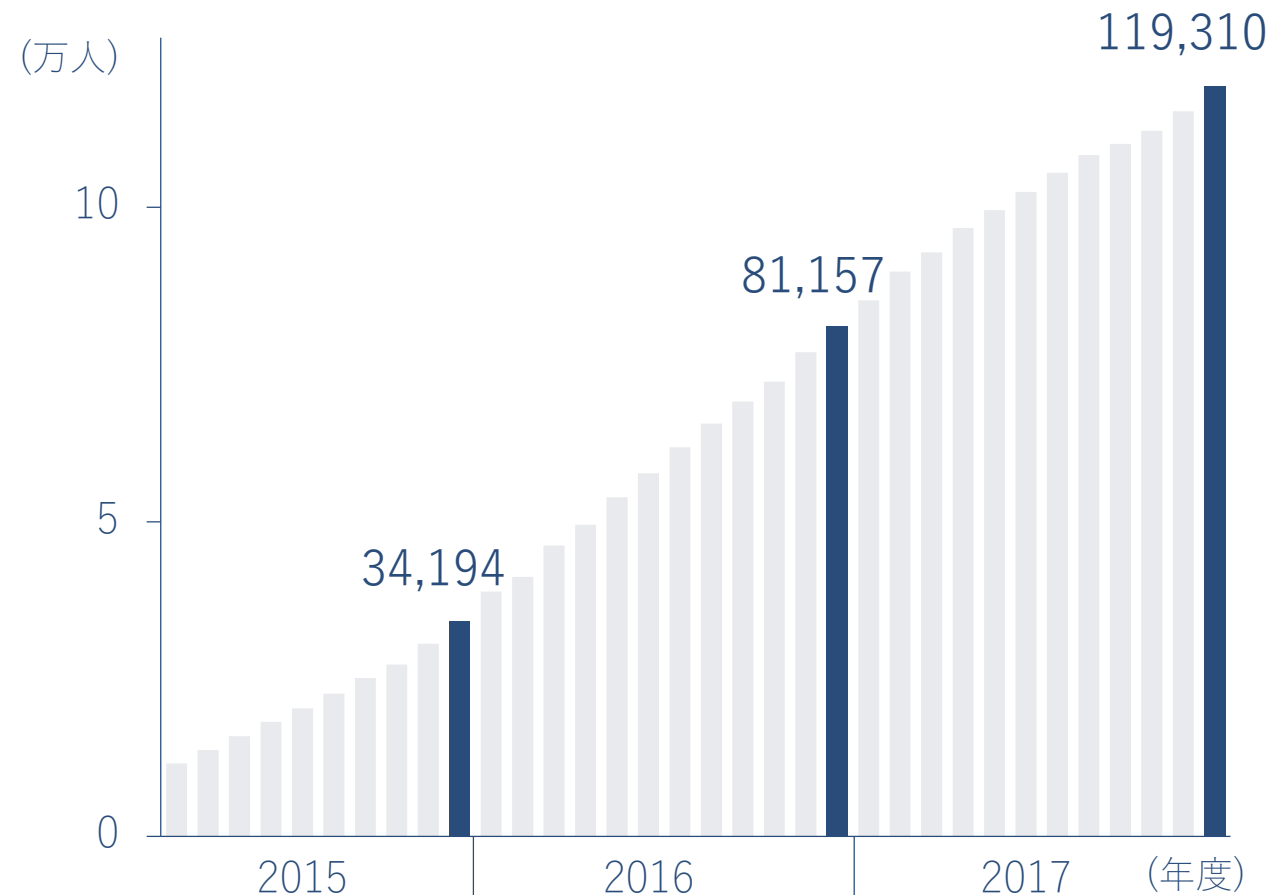
有料プランの機能拡充

- ① 自動応答メールの各種設定
- ② サービスロゴのフォームやチャットでの非表示化
- ③ Googleのスプレッドシート対応
- ④ チャット機能
- ⑤ サブドメイン設定

2017年10月に事業譲受後から2020年度ユーザー数50万人を目標にしてリニューアルに着手



<https://Jooto.com>



ユーザー対話機会の創出 & 積極的なシステム投資

- ① ユーザー Meetup を開催
- ② エンタープライズプランを初受注
- ③ 全面リニューアルを進行中、第1四半期に公開

PR TIMESの利用価値のひとつはパブリシティの獲得、当社のパブリシティ実績でそれを実証
パブリシティ数は110件（前期比146.7%）と過去最高を更新



TV 2媒体

千葉テレビ、日本テレビ



ラジオ 1媒体

IBS 茨城放送



雑誌 5媒体

月刊広報会議、月刊BOSS、戦略経営者、日経マネー、
ふくおか経済



新聞 27媒体

朝日新聞、茨城新聞、岩手日報、沖縄タイムス、神奈川新聞、北國新聞、北日本新聞、山陰中央新報、静岡新聞、下野新聞、
新聞情報、新聞報、織研新聞、千葉日報、富山新聞、新潟日報、西日本新聞、ニッキン、日経産業新聞、日本経済新聞、福井新聞、
フジサンケイビジネスアイ、文化通信、北陸中日新聞、宮崎日日新聞、読売新聞、流通ジャーナル



Web 38媒体

AdverTimes、ASCII.jp、CNET Japan、ECzine、fabcross、IBASHO、INTERNET Watch、IT Leaders、LiBz Workstyle、LIMIA、LISKUL、
M&A Times、MarkeZine、Narinari.com、NNA ASIA、office magazine、ORICON NEWS、qBiz 西日本新聞経済電子版、SUPER CEO、
THE BRIDGE、Venture Times、Web担当者Forum、あおぞらVR、カナロコ神奈川新聞、北日本新聞、九州ビジネスチャンネル、
しごとなでしこ、時事ドットコム、自治体クリップ、織研新聞電子版、創業手帳web、千葉日報、つくばもん、日本経済新聞電子版、
ボクシルマガジン、マイナビニュース、“未来を変える”プロジェクト、笑うメディアクレイジー

- Yahoo!ニュース、livedoorニュース、SmartNews、LINE NEWS、NewsPicks、Antennaなどに転載されたパブリシティは省略。
- 当社の株価に関連したパブリシティは対象外。
- 複数回掲載された媒体を含む。

（2017年3月～2018年2月、媒体名五十音順）

貸借対照表

(単位：百万円)	2016年度	2017年度	前年同期比	増減要因
流動資産	1,301	1,598	122.8%	
内、現預金	1,121	1,268	113.1%	当期純利益
固定資産	262	345	131.5%	Jootoの事業譲受
総資産	1,564	1,943	124.2%	
流動負債	244	372	152.5%	
内、前受収益	42	85	201.5%	長期契約一括前払い
固定負債	4	2	65.0%	
純資産	1,315	1,568	119.2%	

01

2017年度 通期決算

02

2017年度第4四半期 四半期決算

03

2018年度 業績予想

Jooto

タスク管理ツール

ジュートウ

ToDo リスト +

進行中 +

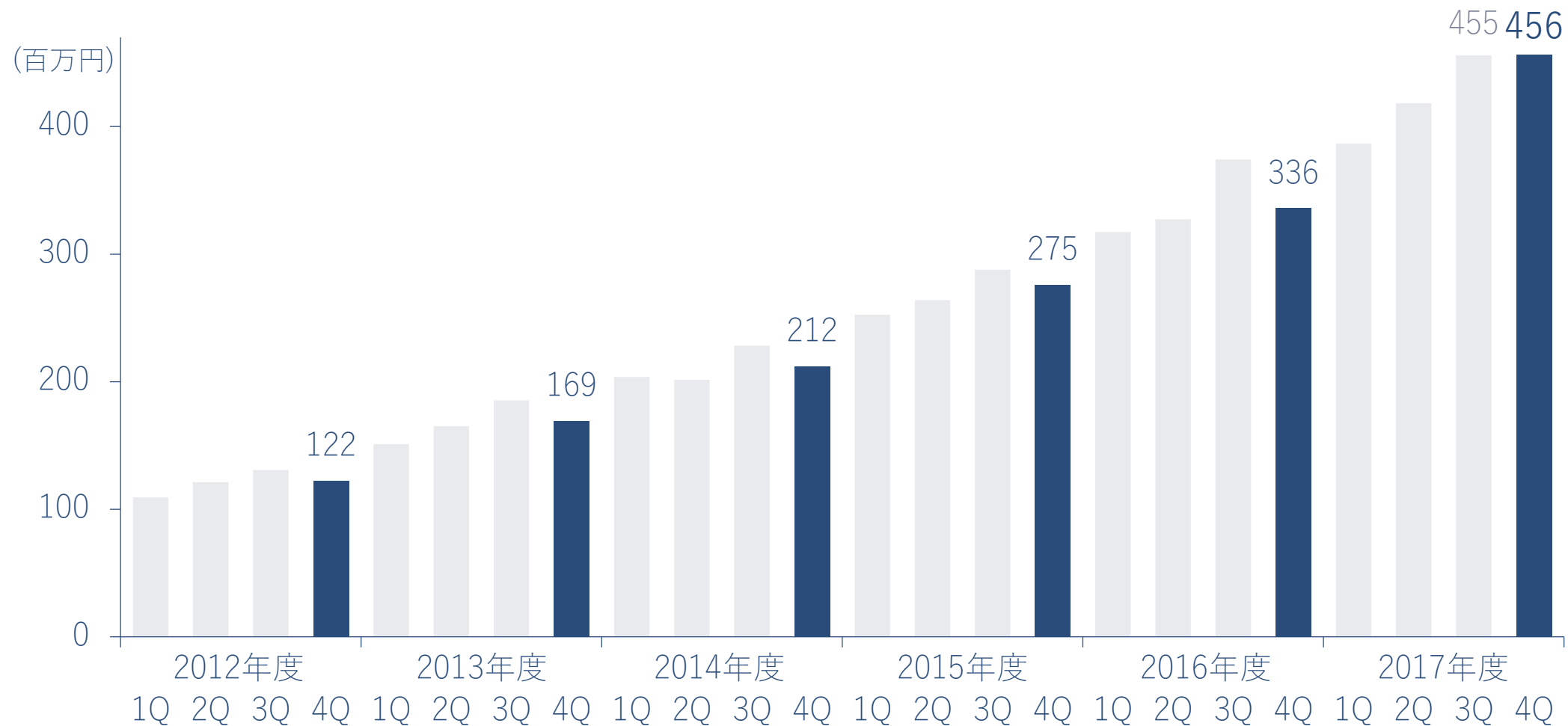
完了 +

2017年度第4四半期業績

(単位：百万円)	2016年度 4Q	2017年度 4Q	前年同期比 (YonY)	2017年度 3Q	前四半期比 (QonQ)
売上高	336	456	135.8%	455	100.2%
売上総利益	254	365	143.6%	359	101.6%
(粗利率)	(75.6%)	(80.0%)	—	(78.8%)	—
販売管理費	229	276	120.3%	—	109.5%
営業利益	24	88	362.1%	106	83.1%
経常利益	24	85	346.4%	106	80.3%
当期純利益	12	78	605.2%	38	202.5%

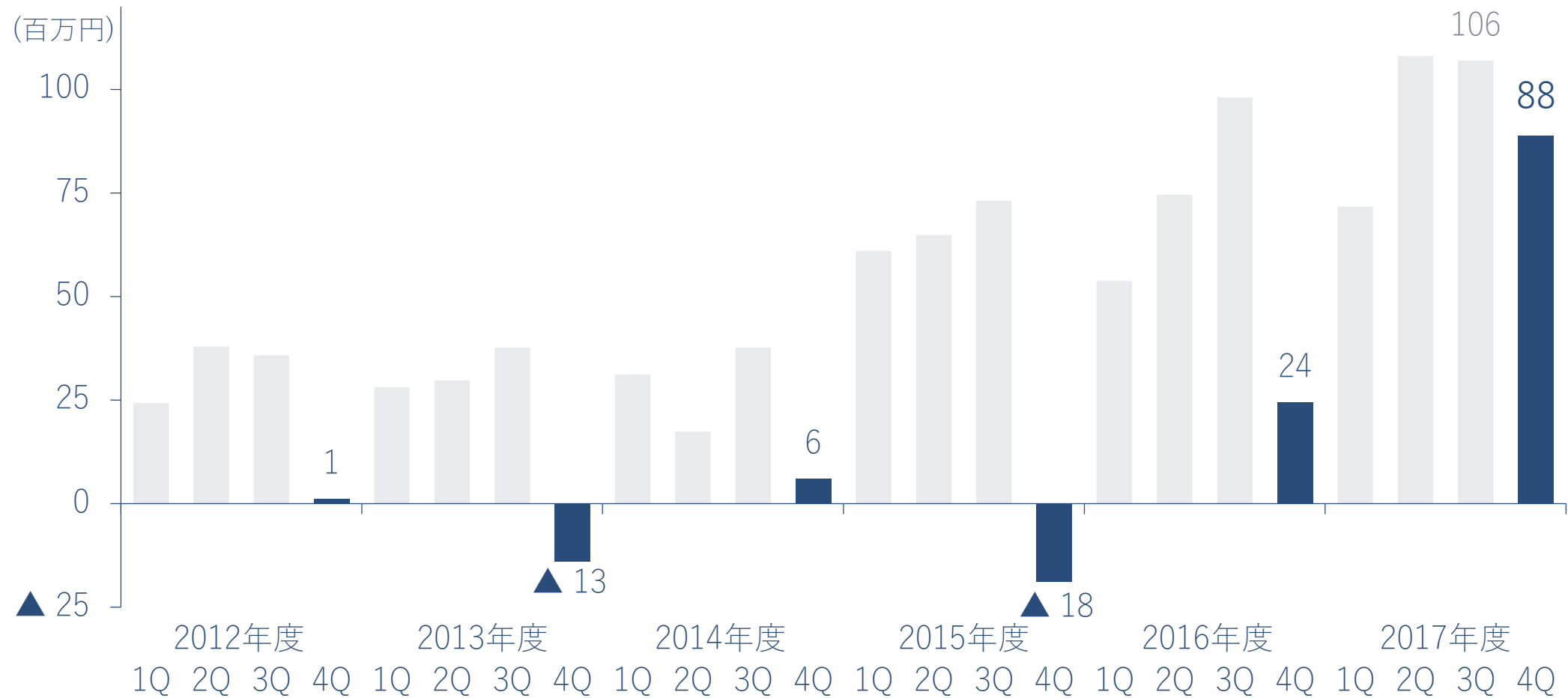
四半期売上高の推移

売上高4億5千6百万円（前年同期比135.8% 前四半期比100.2%）、4四半期連続で過去最高を更新



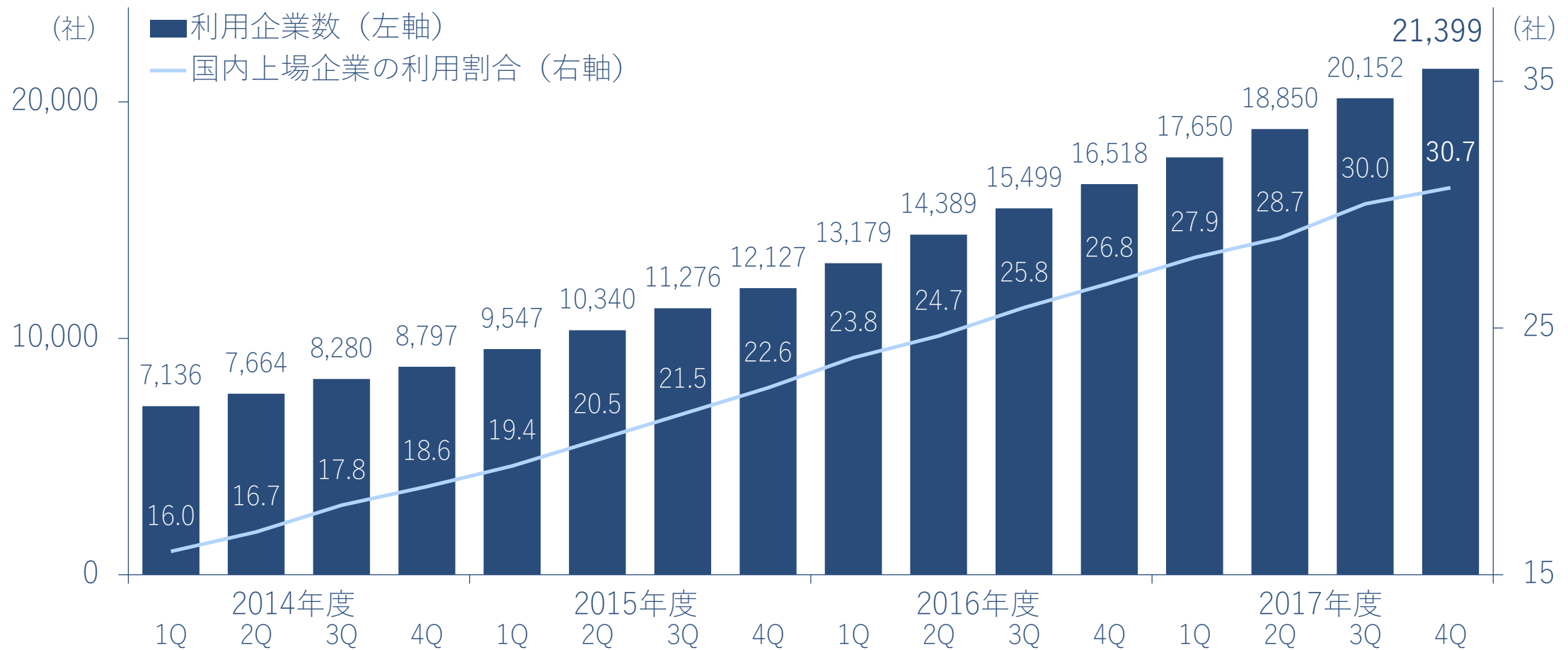
四半期営業利益の推移

営業利益8千8百万円（前年同期比362.1% 前四半期比83.1%）、第4四半期として過去最高を更新



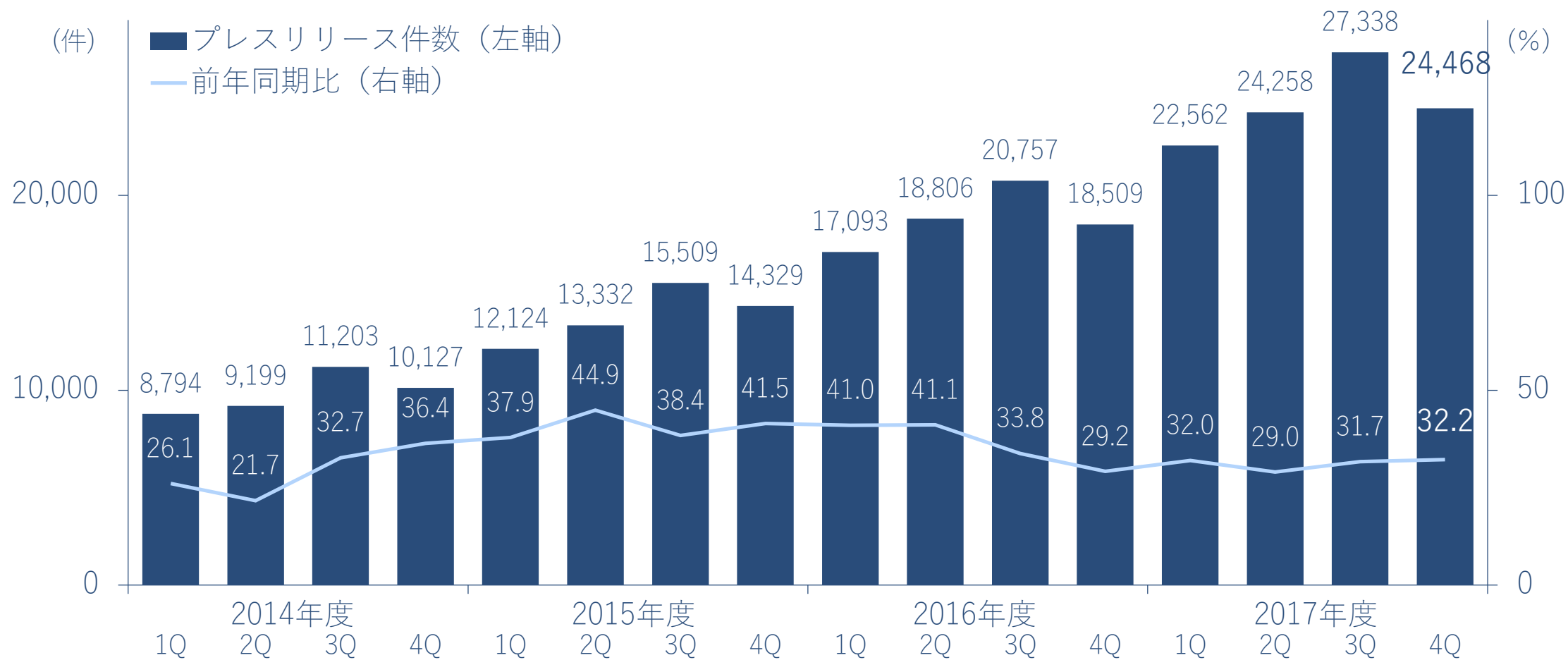
PR TIMES：利用企業社数の推移

利用企業社数が2万1千社を突破（前年同期比4,881社増 前四半期比1,247社増）
上場企業のうち30.7%（1,139社／3,711社）が利用

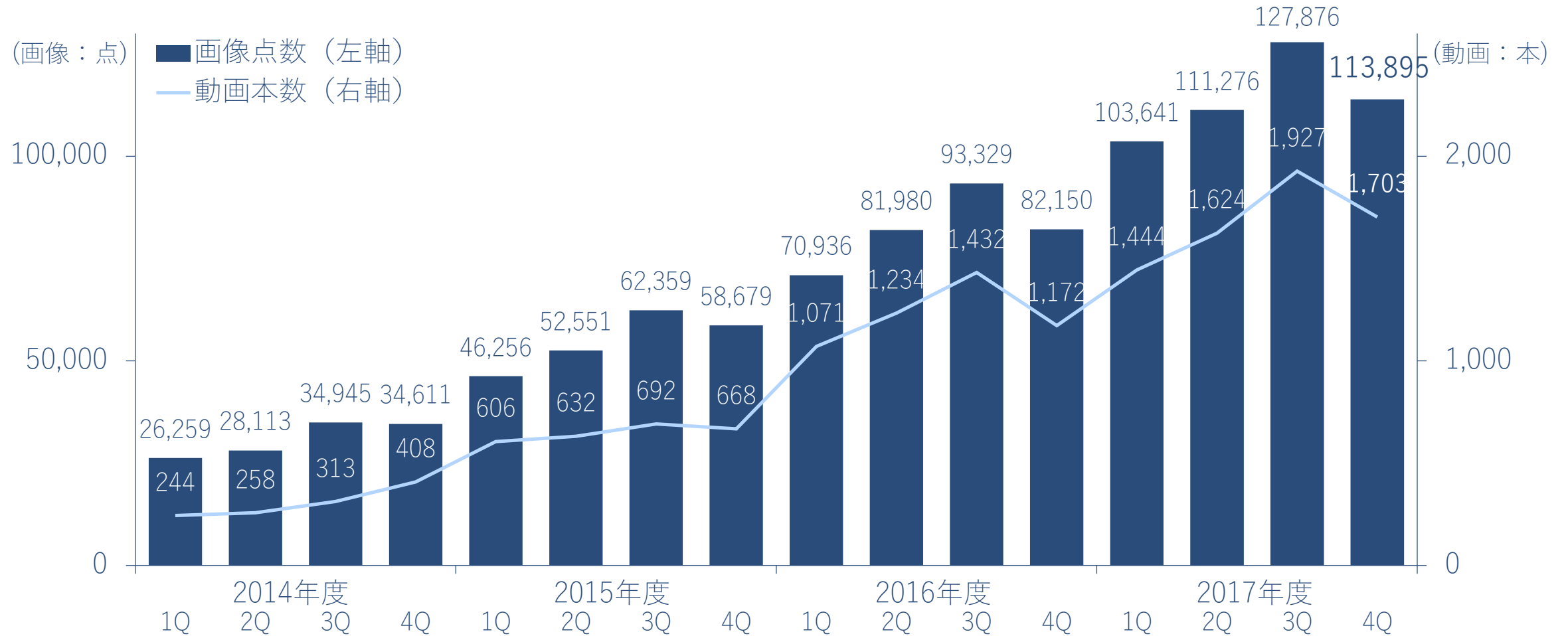


PR TIMES：プレスリリース件数の推移

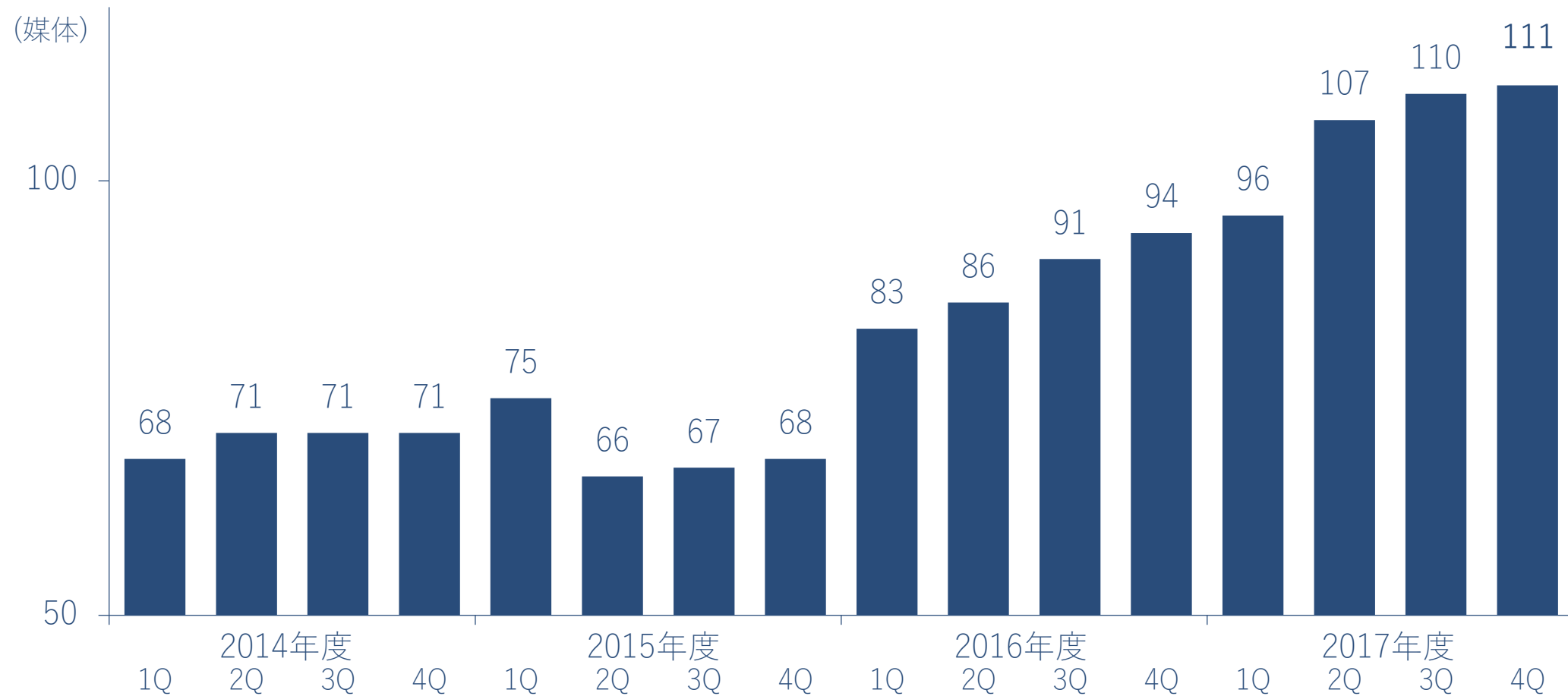
第4四半期は年末年始など季節要因が影響、プレスリリースは前年同期比32.2%増で順調に推移



第4四半期は年末年始など季節要因が影響、画像と動画はそれぞれ前年同期比38.6%増と同45.3%増で高成長



パートナーメディア数は8四半期連続で過去最高を更新、LIMIAとニコニコニュースそしてクレイジーが追加



A group of people in a meeting room, with a table of contents overlay. The background shows a modern office interior with a grid ceiling and people seated at tables.

01 2017年度 通期決算

02 2017年度第4四半期 四半期決算

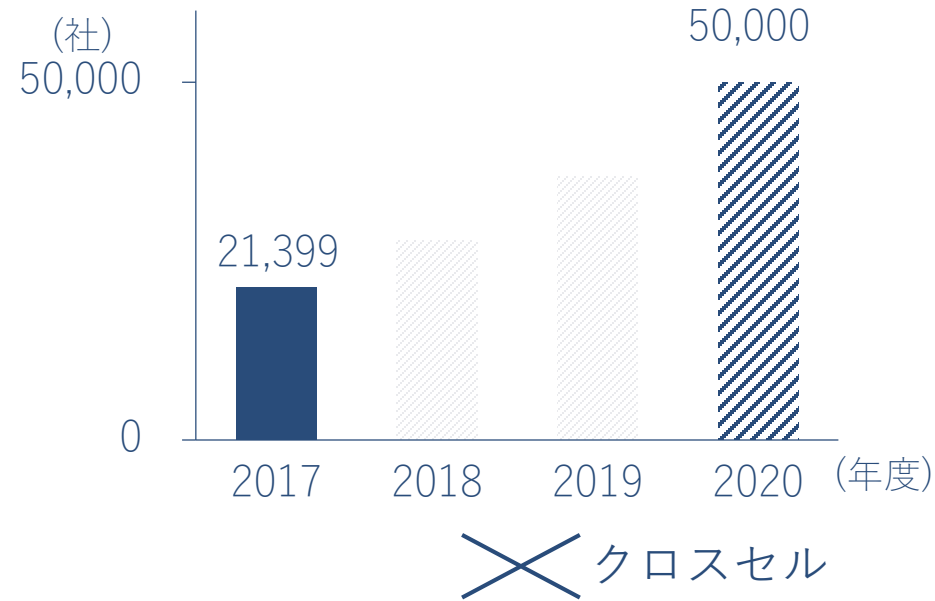
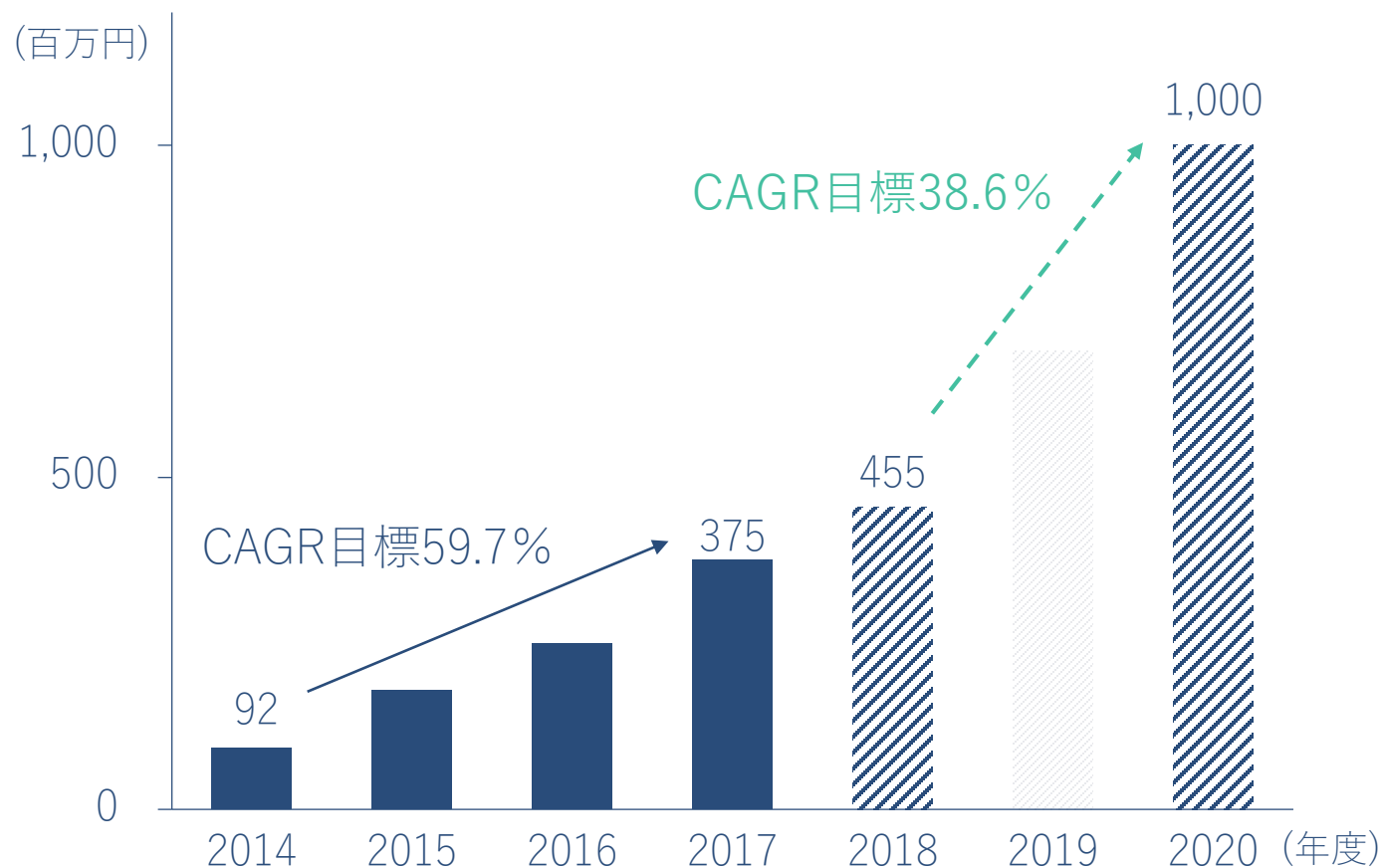
03 2018年度 業績予想

2018年度の業績予想

12期連続で売上高25%成長を目指しつつ、売上高・各利益において前期比増収増益を保守的に計画
2020年度営業利益10億円を視野に入れて飛躍と持続的成長に向けた投資局面

(単位：百万円)	2017年度 通期予想	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	前期実績比	前期予想比
売上高	1,690	1,717	2,100	122.3%	124.3%
営業利益	350	375	455	121.1%	130.0%
経常利益	347	370	445	120.0%	128.2%
当期純利益	239	241	294	121.8%	123.0%
配当金	0	0	0	—	—

営業利益の直近3期平均成長率（CAGR）は59.7%、2020年度目標達成に今後3期平均成長率で38.6%が必要
PR TIMESの利用企業社数を伸ばしながら、サービスラインを拡充して顧客単価とロイヤルティ向上を目指す



TV ● LIVE Tayori
Jooto Web Clipping

行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

インターネットが人の生活に入りこみ始めて四半世紀。

一人ひとりが情報を編集・発信できるようになった。

そして、テクノロジーによってかき集められた情報が無造作に拡散されることも増え続けている。

本当に必要な情報や本当に触れたい感情や想いに出会う確率は、
残念ながら、総じて減ってきている。

揺るぎない真実は、何を言ったかではなく、何をしたか。

その行動は嘘をつかない。

ゆえに、行動者の情報価値が高まっていくことに、インターネットやテクノロジーの力が発揮されることに意味がある。

頑張りに直結した情報が、最も確かで人の心を揺さぶる潮流を生みだす。

スポーツでも芸術でも、政治でも経済でも、そして、仕事でも家庭でも。

それが、大きいことでも、小さいことでも。

行動者発の情報の質と流通速度が上がっていくことで、それが世の中の情報のメインストリームになれる。

そこから生まれる物語が、想いが、

一人ひとりの、そして、世の中の心を揺さぶっていく。

ポジティブなエネルギーが循環していく。

そのプラットフォームになることが私たちの使命です。

本資料の端数処理につきましては、百万円単位未満の表示は切り捨て、%（パーセント）の表示は小数点第1位未満四捨五入を原則としております。

本資料に記載した意見や予測は、資料作成現時点における当社の見解であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承願います。

PR TIMES